

eNENサービス仕様書

Ver1.9

最終更新日

2025/11/20

項目	内容		備考		
サービス基本特性					
サービス内容					
サービスの内容・範囲	サービスの内容	年末調整電子申請に関するクラウドサービス			
	サービス提供上のピアクラウド利用	Microsoft Azure AppService(PaaS型クラウド基盤)※プラットフォームのため個人情報の直接取扱いはありません。			
推奨サービス環境	サービスを利用する際の動作推奨環境	https://www.mks.jp/enen/spec/			
サービスの変更・終了					
サービス変更・終了時の事前告知	サービス終了時のサービス利用者へ通知	3ヶ月前			
	サービス終了時の告知方法	WEB / メール			
	サービス終了時のカスタマデータの提供	ご利用者にて管理者画面より各種のカスタマデータをcsvでエクスポートする事が可能です。サービス終了前にお客様にて保管下さい。			
サービスの安定性					
稼働率	直近の稼働率	100.00%	2024年度		
MTTR	直近1年間の平均復旧時間	0 時間	2024年度		
MTBF	直近1年間の平均故障間隔	0 時間	2024年度		
サポート内容					
サービス問い合わせ窓口(苦情受付を含む)					
窓口・受付内容	サポート内容	サービスの操作方法等に関するお問い合わせ。			
	サポート窓口	(1)開通通知の際にご案内しております。 ご契約の主管ご担当者様から、メールで受付。			
サービス通知・報告(変更管理)					
メンテナンスによるサービス停止通知	定期メンテナンス	平日AM 02:00 ~ AM 02:30の間。※この間はサービスを一時的にご利用出来ない場合があります。			
	告知方法	定期のため事前告知はございません。			
	ユーザー影響のあるメンテナンス	メンテナンス実施の5営業日前。(※緊急の場合はこの限りではありません。)			
契約・機密保持					
個人情報	利用目的の明示、第三者提供、安全管理措置等の取扱い	個別の利用規約に記載	https://www.mks.jp/company/privacy/		
サービス解約後のデータ取扱い	サービス解約時のデータ消去	セキュリティ規約に記載しております。(※契約の終了日から65日以内にサービスご利用上の登録データは完全削除されます。削除されたデータを回復する事は出来ません)			
	契約終了時のユーザーデータ等情報資産の返却・廃棄	ご契約終了前に管理者画面からエクスポートしお客様自らデータを保管下さい。サービス解約後のデータエクスポートは出来ません。			

項目	内容	備考
情報システムのセキュリティ対策		
ユーザIDの登録方法	(1)ADMIN ID、又は管理者ロールIDにより管理者画面からユーザIDの登録が可能です。ユーザIDは社員情報の登録の中で行えます。登録はcsvによる一括取込方式です。 (2)一般ユーザやユーザIDを持たない場合のID登録は出来ません。管理者の方へID登録を依頼下さい。	
ユーザIDの削除方法	不要となったユーザIDを個別に削除する事が可能です。管理者画面から無効化を実施頂くとログイン出来なくなります。IDの完全な削除は、サービス解約に伴うサイト削除により完全に無くなります。	
IDの権限(ロール)の種類と設定方法	ADMIN IDにより作成したユーザIDには、機能利用や閲覧範囲を制限できるロールを割り当てる事が出来ます。ロールにはADMINと同等権限を持つ管理者ロール、一部の管理機能を限定利用できるロール、一般ユーザのロールがあります。	
IDロック機能	管理者画面にてIDの有効/無効を設定頂けます。※退職者IDを無効化する事が可能です。	
初回利用時のパスワード登録方法	(1)ADMIN ID(開通通知書でお客様へ通知されます) →初回ログイン時に初期パスワードからの変更が必要になります。ご利用者にて任意の物へ変更頂きます。 (2)ADMIN IDにより作成した登録ID →各ユーザが初回ログイン時に新規にパスワード設定を行う。(管理者により事前にユーザ初期パスワード設定まで行い配布を行った場合、ログイン時に初期パスワードからの変更が必要になります。ご利用者にて任意の物へ変更頂きます。)	
利用中のパスワード変更の方法	パスワード設定ページからご利用者の方で任意に変更出来ます。	
利用中のパスワード忘れ時の再発行。	ユーザID:パスワード設定ページからご利用者の方で任意に再設定出来ます。(ご利用者自身で設定する場合はメールアドレス登録が必須です。登録が無い場合はご利用各社様の管理者の方へご依頼が必要です) 開通通知書記載の管理者ID:パスワードを失念し、登録メールアドレスが失効している等でリセットが出来ない場合はサポートセンターまでお問合せ下さい。	
お客様データのバックアップ	バックアップ内容と設定	プラットフォームであるMicrosoft Azureのスナップショット機能にて実現しています。 ・完全バックアップ:毎週 ・差分バックアップ:12時間ごと ・トランザクションログバックアップ:5-10分ごと
	カスタマーデータのバックアップ保管期間	最大35日
	バックアップデータの復元取扱い	取得しているバックアップは、プラットフォームにおける共通障害など運用上における不具合からの回復を目的としております。ご利用者の操作ミスなど、お客様個別の事由による復元には対応しておりません。管理画面の登録データエクスポート機能を利用し定期的に保管下さい。
記録(ログ等)の保護	サービスプラットフォーム上で取得される記録(ログ)	(1)サイトへの通信ログ(IP/時間/ブラウザ等のクライアント情報) (2)機能へのアプリケーションレベルアクセスログ(URLやセッション情報)
	サービスプラットフォーム上で取得される記録(ログ)の保管期間	最大90日 ※個別の期間延長や縮小は出来ません。
	サービスプラットフォーム上で取得されたログのご提供	お客様の監査目的などに限り個別にご提供しております。ご希望の場合はサポートセンターへお申し出下さい。
	各ユーザ毎のログイン履歴の取得と閲覧	ID単位でログイン後のユーザメニューから確認が可能です。不正なログインの有無の確認などにご利用頂けます。
	各ユーザ毎のログイン履歴の保管期間	サービス終了時まで全期間保存されます。

項目	内容	備考
セキュリティ対策	ネットワーク分離	サイトはお客様契約(URL)単位で論理的に分離されています。データベースはお客様契約(URL)単位で論理的に分離されています。サイトとデータベースはプラットフォーム内でネットワーク分離されています。
	IPアドレス制限	ご契約単位(URL)でのみ設定が可能です。ご契約時にお申込下さい。IP制限は1契約(URL)毎に100個まで設定可能です。超える場合は追加の契約をお申込下さい。
	ファイアウォール	装備しています。サービス提供に必要なHTTP/HTTPSのみを公開しています。
	WAF	装備しています。SQLインジェクション、クロスサイトスクリプティング、OSコマンドインジェクション、パスワードリスト攻撃などのサイバー攻撃を防ぐ事が可能です。
	DoS攻撃・DDoS攻撃対策	プラットフォームに採用しているMicrosoft AzureによるAzure DDoS Protection サービスにより対策が実行されています。
	コンピュータ・ウイルス対策とパターンファイルの更新間隔	プラットフォームに採用しているMicrosoft Azureによりマルウェア対策がリアルタイムで実行され、常に最新のシグネチャが自動的にインストールされます。
	セキュリティパッチの適用方針と更新間隔	プラットフォームに採用しているMicrosoft Azure AppService によりOS／ミドルウェアはMicrosoft社のポリシーにより計画的に月例パッチやアップデートがオンデマンドで適用され、常に最新の状態が保たれます。
	第三者による脆弱性検査など	第三者機関による脆弱性診断を実施しております。
セキュリティを考慮した機能実装	SQLインジェクション対策	IPAが公開している情報に従ったセキュリティ実装により対策を行っています。
	パスワードハッシュ方式	PBKDF2を採用。(※RSA研究所の公開鍵暗号化標準仕様の一部で、RFC 2898として提案されている方法)
暗号化対策	通信の暗号化と証明書	SSL (TLS1.2)によりサービスとクライアント(ブラウザ間)は完全に暗号化されます。SSLに用いる証明書は SHA-2(SHA256)に対応しています。
	データベースの暗号化	プラットフォームに採用しているMicrosoft Azure SQL Databaseによりトランザクションを含めて、クラウドサービスカスタマーデータは暗号化されます。
	ストレージの暗号化	プラットフォームに採用しているMicrosoft Azure Storageにより、ログやバックアップ等のクラウドサービス派生データは暗号化されます。
サービス提供環境		
プラットフォーム	所在地(リージョン)	Microsoft Azure 東日本リージョン(Japan/埼玉)によりサービスを提供しています。 https://azure.microsoft.com/ja-jp/global-infrastructure/locations/
データセンタファシリティ	耐震・免震構造	
	停電対策(UPS・非常用電源・自家発電装置など)	
	落雷対策	
	火災対策(自動消火設備など)	プラットフォームに採用しているMicrosoft Azureでは、様々な認証基準を満たした堅牢なファシリティ管理が実施されています。
	空調管理	* Microsoft Azureは、様々なコンプライアンス認証をクリアしています。 * Microsoft Azureは、日本の FISC 安全対策基準の要件を満たしています。 * Microsoft Azureは、ISO/IEC 27017:2015を満たしています。
データセンタ入退館管理	入退室制御システムの有無、入室・退室記録	
	監視カメラ	
	サーバーラックの施錠	
インフラ可用性対策	ハードウェア冗長性	プラットフォームに採用しているMicrosoft Azure AppServiceによりインフラは冗長性が保たれています。 https://azure.microsoft.com/ja-jp/services/app-service/web/
	スケーラビリティ	プラットフォームに採用しているMicrosoft Azure AppServiceにより、柔軟なスケーリングを実現しています。 https://azure.microsoft.com/ja-jp/services/app-service/web/
	負荷分散装置の設置等	プラットフォームに採用しているMicrosoft Azureによるロードバランサによる負荷分散とキャッシュコントロールを行っています。
サービスパフォーマンス管理	アプリケーション、サーバやネットワーク機器等の死活監視	あり
	システム障害によるサービス応答速度の低下等の監視の有無	あり
	サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の監視	あり
サービスの保守運用		
入退館管理	入退室制御システムの有無、入室・退室記録	クラウド上のシステムのため入退館管理はありませんが、Azure 管理画面に接続できるIPアドレスに制限を設けています。
プラットフォームへのアクセス管理	保守要員のアカウント管理	プラットフォームであるMicrosoft Azure へのアクセスは開発運用に必要な人員に特定されています。 プラットフォームへのアクセスアカウントは、社内規定に基づきユニークに権限管理され運用されています。
	権限設定	プラットフォームの機能リソースへのアクセスは、開発・保守の役割毎に分離され不要なアクセスから保護されています。当社保守要員がお客様個別データを閲覧・操作する事は出来ません。
	操作ログ(アクティビティ)の記録	プラットフォームのリソースへのアクセスや操作記録は、Microsoft Azureの機能により全てアクティビティログが記録されます。記録は全てAzure上で保管されます。 https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-monitor/platform/activity-logs-overview
	操作ログ(アクティビティ)の保管期間	最大90日 ※個別の期間延長や縮小は出来ません。